

慢性肺アスペルギルス症 (呼吸器内科)

臨床研究の名称	慢性肺アスペルギルス症の臨床学的後方視的検討
研究責任者の所属・氏名	呼吸器内科 医師 山川 英晃
研究の概要	<p>【目的】 慢性肺アスペルギルス症の診断後の5年生存率は50%弱とされ予後不良の疾患です。しかしどういった背景をもつ患者様が予後不良なのかは報告も乏しく明らかになっていない反面、長期生存を得られている患者様も経験します。そのため予後良好もしくは不良な一群の特徴を明らかにすることを目的とし後方視的に検討します。</p> <p>【対象患者】 当院において2014年6月1日から2021年10月31日までに血液中のアスペルギルス抗体が計測され陽性であった患者様。</p> <p>【研究期間】 2022年1月11日から2023年3月31日まで</p> <p>【方法】 慢性肺アスペルギルス症の診断時の検査値・画像および臨床経過を調べ、適切な解析手法により検討する。</p> <p>【使用する情報】 年齢・性別・検査結果（血液・呼吸機能・画像）・臨床経過</p> <p>【個人情報の取り扱い】 本研究で取り扱うすべての臨床情報は名前や住所など患者様個人を特定できる情報を除き、院外へ持ち出すことはなく管理するため情報が外に漏れることはありません。また研究結果を学会や論文などで報告する場合も、報告内容に個人を特定できる情報は一切含みません。もし患者様より情報提供を拒否する申し出があった場合は速やかに研究利用対象からはずさせていただきます。ただし研究結果を報告した後の申し出については対応しかねる場合があります。</p>
問い合わせ先	呼吸器内科 医師 山川 英晃 〒330-8553 埼玉県さいたま市中央区新都心1番地5 さいたま赤十字病院 電話番号 048-852-1111 (代表)